



糖尿病内分泌科

糖尿病に関する精査加療

糖尿病のない人と変わらない寿命やQOLを目標に糖尿病の治療や合併症の精査などを行っています。高血糖で緊急性が高い場合には入院(5-14日間程度)で対応します。

- ・ 糖尿病関連合併症精査
- ・ 悪性腫瘍精査
- ・ 糖尿病型の評価
- ・ 薬剤調整・注射製剤の導入
- ・ 管理栄養士による食事指導
- ・ 理学療法士による運動指導
- ・ その他併存疾患の対応
- ・ 必要に応じて社会資源の調整 など

注射製剤の導入や変更（外来・入院）

- 糖尿病における注射製剤にはインスリンとGLP-1受容体作動薬（GLP-1RA）の2種類があり、患者さんの血糖値、心血管リスクや肥満の有無、身体的/経済的な継続性などを総合的に評価し、導入を検討します。
- 1型糖尿病における自動調整機能を搭載したインスリンポンプの導入も可能です。



ノボノルディスクファーマ株式会社HPより引用



ミニメド780G

日本メドトロニック社HPより引用

ベストウェイト外来

肥満症治療薬「ウゴービ®」が本邦の保険診療で使用可能となり、当科では主に肥満症患者さんを対象とした「ベストウェイト外来」を開始しています。ベストウェイト外来では、肥満改善と並行して二次性肥満のスクリーニングや合併症評価も行います。

**BMI 27 kg/m²以上で肥満改善に難渋
されている患者さんがいらっしゃいましたら、
是非ベストウェイト外来へご紹介下さい。**



ノボノルディスクファーマ株式会社HPより引用

【ウゴービ®の適応条件】

- 高血圧、脂質異常症、2型糖尿病のいずれで診断されている
かつ
- BMI $\geq$ 27kg/m²かつ、2つ以上の肥満に関連する健康障害※を有する
又は
BMIが35kg/m²以上

※ 肥満に関連する健康障害：耐糖能障害、脂質異常症、高血圧、高尿酸血症・痛風、冠動脈疾患、脳梗塞、運動器疾患、非アルコール性脂肪性肝疾患、月経異常・不妊、閉塞性睡眠時無呼吸症候群・肥満低換気症候群、肥満関連腎臓病
(腸閉塞や難治性の消化管疾患をお抱えの方は使用できない可能性があります)

患者さんを中心としたチーム医療

チーム医療：

医師だけでなく、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、臨床検査技師が連携し、患者さんを中心としたチーム医療を実践しています。

糖尿病療養指導士：

さらに当院には糖尿病とその療養全般に関する高度な専門知識を持つ糖尿病療養指導士が多数在籍しており、糖尿病に関する高度なケアも提供しています。



内分泌疾患に関する精査加療

- 甲状腺疾患、原発性アルドステロン症、褐色細胞腫、副腎偶発腫、クッシング症候群、末端肥大症、下垂体機能低下症、中枢性尿崩症、その他下垂体関連疾患等の精査や内科的治療を行います。
- 各種負荷試験は2～7日前後の入院で行います。
- サンプルング試験や外科的対応が必要な疾患の場合、本院とのシームレスな連携をご案内しています。

甲状腺疾患

- 当院ではバセドウ病、橋本病、無痛性甲状腺炎、亜急性甲状腺炎、腺腫様甲状腺腫など広く甲状腺疾患に対応しています。
- 健診や採血で見つかった甲状腺異常の精査加療など遠慮なくご紹介ください（甲状腺エコー評価のみの受診も可能です）。
- 穿刺吸引細胞診、外科的治療が必要と考えられる場合は速やかに対応可能な施設と連携します。